

会計名 一般会計			篠原有司男展開催事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	美術館	
10	6	8					担当係	美術館	
P L A N の 計 画 要 求	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	ボクシング・ペインティングやエネルギーな作品で国内外から高く評価される日本を代表するアーティスト篠原有司男（昭和7年～）の美術の枠を打ち破る大胆な作品にふれることで、美的好奇心を育む機会を提供し、芸術文化の高揚を図る。	主たる内容	○初期の作品から新作までを網羅した作品の展示 ○各種イベントの実施 会期 平成29年9月16日（土）～11月5日（日）（44日間） 会場 全館 入場料 一般当日900円・前売700円 学生当日700円・前売500円					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	博物館法						
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成29年度 ～ 平成29年度			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	B D O の 実 績	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		—		—		・ワークショップ 4回 ・ギャラリートーク 4回 ・ボクシングペインティング 公開制作 1回		—	
成果		・ボクシング・ペインティングの公開制作や、作家によるワークショップ、市内小学校との連携などのイベントを開催し、より身近に芸術に触れる機会を提供できた。 ・市内映画館と連携し、会期中毎日ドキュメンタリー映画を上映してもらうことで、存分に魅力を伝えることができた。							
課題		・知名度の高い作家のように、多くの人に告知を浸透させ来館まで繋げることが難しく、今後、より効果的なPR方法を検討する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
成果指標		入場者数（人）		—	—	5,327	—	—	
成果指標		入場者アンケートの満足度（%）		—	—	94.8	—	—	
他市との比較検証									
C の 実 施		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	17,450	0	合計	17,450,116 円	
	財源	特定財源	0	0	2,451	0	賃金	2,512,030 円	
		一般財源	0	0	14,999	0	報償費	100,000 円	
	職員人件費 ②		0	0	6,591	0	旅費	289,070 円	
	総事業費（①+②）		0	0	24,041	0	需用費	3,999,997 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	29年度特定財源名称				
		29年度までの累積事業費		0	入場料、冊子等頒布収入、印刷物売払収入、講座受講料				
		31年度以降の事業費見込		0					
							役務費	1,188,059 円	
						委託料	6,838,800 円		
						使用料及び賃借料	72,160 円		
						負担金、補助及び交付金	2,450,000 円		

会計名			篠原有司男展開催事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	美術館
款	項	目		担当係	美術館
10	6	8			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	博物館法で美術館が行う事業として、実物（作品）等の資料を豊富に展示することが定められており、必要性が高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	当館オリジナルの展覧会であり、担当学芸員による図録制作を行うことで、コストの削減を図った。また、館内でドキュメンタリー映画の予告編やインタビュー映像等を流すことで展覧会をより楽しむことができた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	展覧会の企画運営は、専門的な知識を持つ学芸員の経験や手腕が必要になることから、市が主体となるのが妥当であり、第7次総合計画の施策にも位置づけられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	展覧会関連ワークショップを行うことで、気軽に鑑賞することができ、創造体験の機会を提供することができた。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
<ul style="list-style-type: none"> 文化基本計画に基づき、市内施設等との相互協力を強めていく。 市役所食堂等と協力し展覧会コラボメニューの提供を行い、広告周知に努める。 					

会計名			子供之友展開催事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	6	8							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	大正3年4月に創刊され昭和18年に休刊となるまで、全358冊刊行された幼年絵雑誌「子供之友」の誌面を飾った原画等を通し、30年間の歩みを紹介することで、美術に対する理解と親しみを深める機会を提供し、芸術文化の高揚を図る。	主たる内容	○幼年絵雑誌「子供之友」の誌面を飾った画家たちの原画155点の展示 ○各種イベントの開催 会期 平成29年4月22日（土）～6月4日（日）（39日間） 会場 全館 入場料 一般当日900円・前売700円 学生当日700円・前売500円					
	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
	根拠法令	博物館法							
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成29年度～平成29年度				
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		—		—		<ul style="list-style-type: none"> ワークショップ 5回 ギャラリートーク 5回 えほんのじかん 3回 公開研究会 1回 		—	
成果		・学芸員によるギャラリートークや、絵本の読み聞かせイベント「えほんのじかん」などを開催するとともに、母の日イベントとして親子無料デーを実施することで、年代を問わず楽しみながら気軽に芸術に触れる機会を提供できた。							
課題		・親子無料デー開催日には予想を超える入館者数となり、各種イベントを同時開催していたため、人手が足りない箇所が発生するなどの不都合が生じた。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
成果指標		入場者数（人）		—	—	6,301	—	—	
成果指標		入場者アンケートの満足度（%）		—	—	97.9	—	—	
他市との比較検証		展覧会の主な巡回地の会期・入場者数…板橋区立美術館：31日間・4,238人、兵庫県立歴史博物館：38日・12,859人							
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費①		0	0	14,009	0	合計	14,008,879円	
	財源	特定財源	0	0	3,806	0	賃金	1,701,470円	
		一般財源	0	0	10,203	0	報償費	140,760円	
	職員人件費②		0	0	6,591	0	旅費	36,150円	
	総事業費（①+②）		0	0	20,600	0	需用費	2,974,508円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0		入場料、印刷物売払収入、講座受講料					
31年度以降の事業費見込		0							
						委託料	3,324,037円		
						負担金、補助及び交付金	4,968,000円		

会計名			子供之友展開催事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	美術館
款	項	目		担当係	美術館
10	6	8			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	博物館法で美術館が行う事業として、実物（作品）等の資料を豊富に展示することが定められており、必要性が高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	本展特別協力者である婦人之友社関係団体にイベント運営を委託することで、同展の世界観を忠実に再現でき、効率よく運営を行うことができた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	展覧会の企画運営は、専門的な知識を持つ学芸員の経験や手腕が必要となることから、市が主体となるのが妥当であり、第7次総合計画の施策にも位置づけられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	展覧会関連ワークショップを行うことで、気軽に鑑賞することができ、創造体験の機会を提供することができた。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
<ul style="list-style-type: none"> 絵本などの原画展開催時は、近隣大学の幼児保育等を専攻している学生による、絵本の読み聞かせの時間を設けるなど、近隣大学との連携を深めていく。 市役所食堂等と協力し展覧会コラボメニューの提供を行い、双方での広告周知に努める。 					

会計名 一般会計			齋藤吾朗展開催事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	美術館	
10	6	8					担当係	美術館	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	生まれ育った故郷三河地方の風土と、そこに生きる人々をひたすら描き続け、現代の洋画界で独特な存在感を放つ齋藤吾朗（昭和22年～）の画業を紹介し、美術に対する理解・親しみを深める機会を提供し、芸術文化の高揚を図る。	主たる内容	○代表的な油彩画や版画等の展示 ○各種イベントの実施 会期 平成29年7月22日（土）～9月3日（日）（38日間） 会場 1階展示室・1階ロビー 入場料 一般当日300円 学生当日200円					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	博物館法						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成29年度～平成29年度		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		_____		_____		・ワークショップ 4回 ・ギャラリートーク 齋藤吾朗 5回 学芸員 3回 ・対談 1回		_____	
成果		・作家本人によるギャラリートークや対談イベントや、作家の出身地である西尾市産の上質な抹茶を使用した特別呈茶や抹茶石臼挽き体験により、地元・三河地方の「ふるさと」の世界観を存分に味わってもらうことができた。							
課題		・作品の展示スペース上、授乳室を設置することができず、お子様連れの入場者の方には不便をかけたしまった。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
成果指標		入場者数（人）			—	—	8,061	—	—
成果指標		入場者アンケートの満足度（%）			—	—	94.9	—	—
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費①		0	0	8,983	0	合計	8,982,535 円	
	財源	特定財源	0	0	7,272	0	賃金	1,199,160 円	
		一般財源	0	0	1,711	0	報償費	100,000 円	
	職員人件費②		0	0	6,204	0	旅費	5,680 円	
	総事業費（①+②）		0	0	15,187	0	需用費	3,300,205 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	29年度特定財源名称			
		29年度までの累積事業費			0	美術館事業費寄付金、入場料、印刷物売払収入、講座受講料			
31年度以降の事業費見込			0						

会計名			齋藤吾朗展開催事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	美術館
款	項	目		担当係	美術館
10	6	8			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	博物館法で美術館が行う事業として、実物（作品）等の資料を豊富に展示することが定められており、必要性が高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	地元の作家であるため、会期中に頻繁に来館し、来場者に対し作品解説等を行って頂いたことにより満足度の高い展覧会となった。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	展覧会の企画運営は、専門的な知識を持つ学芸員の経験や手腕が必要となることから、市が主体となるのが妥当であり、第7次総合計画の施策にも位置づけられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	展覧会関連ワークショップを行うことで、気軽に鑑賞することができ、創造体験の機会を提供することができた。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
<ul style="list-style-type: none"> 作家と交流のある地元の著名人の方との対談を開催し好評であったため、今後とも、地元の人がより興味を引くイベントを企画してく。 市役所食堂等と協力し展覧会コラボメニューの提供を行い、広告周知に努める。 					

会計名			収藏品等保存管理事業				担当部	市民活動部			
一般会計							担当課	美術館			
款	項	目					担当係	美術館			
10	6	7									
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	文化・芸術								
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり								
	目的	美術作品の劣化を防ぐとともに作品の修復を行うことで、美術館収藏品や借り受けた美術品の適正な保存管理を図る。			主たる内容	美術品動産保険、収藏品の修復、収蔵庫の燻蒸及び保存環境測定に関する費用を支出する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画								
			根拠法令	博物館法							
		対象者	—			事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画			
		収藏品の適正な保存、管理 ・寄託作品の動産保険加入 ・1階収蔵庫燻蒸 ・収藏品の修復、額装 ・新収藏品の撮影		収藏品の適正な保存、管理 ・寄託作品の動産保険加入 ・2階収蔵庫燻蒸 ・収藏品の修復、額装 ・新収藏品の撮影		収藏品の適正な保存、管理 ・寄託作品の動産保険加入 ・1階収蔵庫燻蒸 ・収藏品の修復、額装 ・新収藏品の撮影		収藏品の適正な保存、管理 ・寄託作品の動産保険加入 ・2階収蔵庫燻蒸 ・収藏品の修復、額装 ・新収藏品の撮影			
成果		・収藏品の適切な保存、管理、補修が図られている。									
課題		・新たに収集した作品は状態のよいものばかりではないため、修復は新収藏品を優先して行っており、以前からの収藏品は予算の範囲内で順次行っている。そのため修復を必要とする作品が残っている状況である。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度			
活動指標		修復、保存措置等をした作品数（点） （写真撮影、額装等）			217	333	247	100	100		
活動指標		修復、保存措置等をした作品のうち展示に活用した作品数（点） （写真撮影、額装等）			65	39	41	50	50		
他市との比較検証		修復、保存措置等をした作品数（点）…高浜市やきもの里かわら美術館:0、碧南市藤井達吉現代美術館:102、名古屋市美術館:421、豊田市美術館:62、豊橋市美術博物館:3、稲沢市荻須記念美術館:41 収藏品点数（点）…高浜市やきもの里かわら美術館:2,474、碧南市藤井達吉現代美術館:1,639、名古屋市美術館:6,278、豊田市美術館:3,516、豊橋市美術博物館:60,049、稲沢市荻須記念美術館:267									
C 事業コスト		単位：千円		27年度 （決算）	28年度 （決算）	29年度 （決算）	30年度 （予算）	29年度 事業費内訳			
	事業費 ①		2,683	2,778	2,395	3,435	合計 2,395,291 円				
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費 59,770 円				
		一般財源	2,683	2,778	2,395	3,435	委託料 1,946,721 円				
	職員人件費 ②		2,742	2,735	2,714	2,730	使用料及び賃借料 388,800 円				
	総事業費（①+②）		5,425	5,513	5,109	6,165					
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称						
	29年度までの累積事業費		0								
	31年度以降の事業費見込		0								

会計名			業務管理事業				担当部	市民活動部			
一般会計							担当課	美術館			
款	項	目					担当係	美術館			
10	6	8									
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	文化・芸術								
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり								
	目的	作品選定、審査等の適正な業務管理を行い刈谷市美術館が收藏するにふさわしい美術品を収集することで、コレクションの充実を図る。			主たる内容	刈谷市美術館美術品審査委員会の開催費用を支出する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画								
		根拠法令	刈谷市美術館美術品審査委員会及び選定委員会設置要綱								
	対象者	美術品審査委員会委員、市職員			事業期間	平成4年度～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
	BDO 事業実績 実施	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画			
		・審査委員会 1回開催 ・委員数 5人		・審査委員会 1回開催 ・委員数 5人		・審査委員会 1回開催 ・委員数 5人		・審査委員会 1回開催 ・委員数 5人			
成果		・刈谷市美術品審査委員会の審議を経て、美術品収集方針に沿った美術作品の収集を行うことができた。									
課題		・審査委員が高齢化していることもあり、後任の委員の候補者を検討する必要がある。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度			
活動指標		審査委員会開催回数（回）			1	1	1	1	1		
活動指標		審査作品数（購入・寄贈等）（件）			81	49	62	50	50		
他市との比較検証		審査委員会開催回数（回）・審査作品数（件）…高浜市やきものの里かわら美術館：1・5、碧南市藤井達吉現代美術館：2・149、名古屋市美術館：1・200、豊田市美術館：1・36、豊橋市美術博物館：3・72、稲沢市荻須記念美術館：1・38									
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
	事業費①		561	420	455	886	合計	455,272円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	51,600円			
		一般財源	561	420	455	886	旅費	87,010円			
	職員人件費②		3,917	3,908	3,877	3,900	役務費	7,250円			
	総事業費（①+②）		4,478	4,328	4,332	4,786	委託料	309,412円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称					
29年度までの累積事業費		0									
31年度以降の事業費見込		0									

会計名			一般企画展等実施事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	6	8							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	常設展示を行うことで、地域の人々に刈谷市美術館収蔵作品等を紹介し、美術に対する理解・親しみを深める機会の提供を図る。また、呈茶事業を行うことで、気軽に茶道に親しむ機会の提供を図る。			主たる内容	収蔵作品の展示により年4回開催する常設展及び個人呈茶を実施する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	博物館法					
		対象者	対象者を設定せず			事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		・第1期常設展「New Collection展」26日 ・第2期常設展「没後30年宮脇晴と同世代の画家たち」25日 ・第3期常設展「市政65周年記念河目悌二展」40日 ・第4期常設展「ゾクッ!? 奇怪な絵の誘惑」40日 ・個人呈茶日数 229日		・第1期常設展「New Collection展」32日 ・第2期常設展「館蔵名品展」26日 ・特別展示「戸田提山展」5日 ・第3期常設展「静物画のこころ」29日 ・第4期常設展「表現のひみつ」40日 ・個人呈茶日数 232日		・第1期常設展「New Collection展」26日 ・第2期常設展「カガクの眼でみる絵画の世界」25日 ・第3期常設展「没後20年星野真吾展」40日 ・第4期常設展「絵画を愉しむ彼方へのまなざし」34日 ・個人呈茶日数 238日		・第1期常設展「New Collection展」26日 ・第2期常設展「没後60年河目悌次展」25日 ・第3期常設展「絵画を愉しむ食の風景」34日 ・第4期常設展「絵画を愉しむ描かれた人びと」39日 ・個人呈茶日数 238日	
成果		・個人呈茶の時間延長などにより事業が充実し、市民の文化振興が図られている。							
課題		・佐喜知庵は、個人呈茶または貸切利用で毎日使用されるため、施設・設備・茶道具の日常的な消耗・劣化があるが、十分な修繕や買替えができていないため、計画的な修繕・買換えを行うことが課題である。							
O 実施	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					27年度	28年度	29年度	30年度	32年度
	成果指標	常設展入場者数（人）			37,983	43,209	39,947	40,000	40,000
	成果指標	個人呈茶人数（人）			4,124	5,907	4,426	4,500	4,500
他市との比較検証	常設展開催日数（日）…高浜市やきもの里かわら美術館:260、碧南市藤井達吉現代美術館:300、名古屋市美術館:192、豊田市美術館:236、豊橋市美術館:371、稲沢市荻須記念美術館:296 常設展入館者数（人）…高浜市やきもの里かわら美術館:21,223、碧南市藤井達吉現代美術館:32,020、名古屋市美術館:77,850、豊田市美術館:120,871、豊橋市美術館:44,058、稲沢市荻須記念美術館:7,893								
C 事業 コスト	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		3,207	4,059	2,910	8,411	合計	2,909,823 円	
	財源	特定財源	1,378	2,599	1,441	1,947	旅費	78,320 円	
		一般財源	1,829	1,460	1,469	6,464	需用費	1,289,542 円	
	職員人件費 ②		4,701	4,689	4,653	4,680	役務費	447,369 円	
	総事業費（①+②）		7,908	8,748	7,563	13,091	委託料	1,084,592 円	
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
	29年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入、呈茶料収入				
	31年度以降の事業費見込		0						

会計名			次期企画展開催準備事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	6	8							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	平成30年度以降に開催を予定している企画展について、調査研究、図録作成や広報等の準備作業を行い、展覧会の充実を図る。			主たる内容	企画展開催に係る調査研究、出品作品の選定、次年度春の企画展PR用ポスター・チラシ等の印刷、発送等の準備を行う。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	博物館法						
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		・次期企画展開催準備		・次期企画展開催準備		・次期企画展開催準備		・次期企画展開催準備	
成果		・展覧会の準備・計画を行うためには、調査研究から出品作品の選定、交渉など多大な時間と予算が必要であり、開催年度前から準備作業を行うことで、展覧会の充実が図られている。							
課題		・次年度当初の春季企画展のPR方法を検討する。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
成果指標	春季企画展時のアンケート展示内容満足度（％）		91	94	98	95	95		
成果指標	秋季企画展時のアンケート展示内容満足度（％）		87	92	95	95	95		
他市との比較検証	次年度以降の展覧会準備にかかる予算事業名及び内容…高浜市やきもの里かわら美術館：（展覧会事業費）借用料・広報費・展覧会運営費、碧南市藤井達吉現代美術館：（企画展開催事業）印刷代・保険料・展示品輸送料等、名古屋市美術館：（特別展関係費）旅費、豊田市美術館：（企画展調査費）旅費等、豊橋市美術博物館：（展覧会事業費）報酬・賃金・旅費等、稲沢市荻須記念美術館：（平成30年度特別展）旅費								
C 事業コスト	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		2,652	2,862	2,495	2,809	合計	2,495,205 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	80,000 円	
		一般財源	2,652	2,862	2,495	2,809	旅費	577,210 円	
	職員人件費 ②		6,268	6,252	5,428	5,070	需用費	1,408,229 円	
	総事業費（①+②）		8,920	9,114	7,923	7,879	役務費	300,166 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			参加・体験型美術教育普及事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	美術館		
10	6	8					担当係	美術館		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系		分野	教育文化						
			基本施策	文化・芸術						
			施策の内容	創作・発表の機会づくり						
	目的		教育普及活動を行うことで、次代を担う子どもの想像力や創造力の育成を図る。			主たる内容	企画展関連のワークショップ及びの夏休み・春休み期間中等に子ども向けワークショップを開催する。			
	位置づけ		関連計画				刈谷市文化振興基本計画			
			根拠法令			博物館法				
	対象者		プログラムにより個別に対象年齢を設定		事業期間	～				
	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		・ワークショップ 12種類19回開催 ・参加者数 724人		・ワークショップ 8種類10回開催 ・参加者数 224人		・ワークショップ 13種16回開催 ・参加者数 521人		・ワークショップ 12種12回開催予定 ・予定参加者数 500人		
成果		・他機関ではできない美術館ならではの創造プログラムを提供していることから、年々市民に広まり、特に園児・小学生向けプログラムは抽選になるほどの応募が集まっている。								
課題		・多様なプログラムを提供できるように、幅広いジャンルの講師の確保が課題である。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標		開催回数（回）			19	10	16	12	12	
成果指標		参加人数（人）			724	224	521	500	500	
他市との比較検証		ワークショップ開催数（回）・対象者…高浜市やきもの里かわら美術館：30・小学生～大人、碧南市藤井達吉現代美術館：37・3歳以上の子どもと大人、名古屋市美術館：5・小学生～大人、豊田市美術館：5・小学生～大人、豊橋市美術博物館：2・小学生～大人、稲沢市荻須記念美術館：5・幼児～小学生								
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		777	707	542	847	合計	542,208 円		
	財源	特定財源	115	22	10	25	賃金	107,487 円		
		一般財源	662	685	532	822	報償費	374,580 円		
	職員人件費 ②		2,742	2,735	2,714	3,120	需用費	46,241 円		
	総事業費（①+②）		3,519	3,442	3,256	3,967	役務費	13,900 円		
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称					
	29年度までの累積事業費		0		講座受講料					
	31年度以降の事業費見込		0							

会計名			施設改修事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	6	7							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり						
	目的	美術館の施設を整備することで、来館者に快適な環境提供を図る。			主たる内容	○館内蛍光灯取替修繕 ○消防点検不良箇所修繕 ○雨水配管及び側溝清掃委託 ○産業廃棄物処分業務委託 ○駐車場入口アスファルト舗装工事			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	博物館法						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		美術館の整備 ・第2展示室ピクチャーレール修繕 ・1階2階トイレ壁紙等取替修繕 ・研修室及び控え室カーテン、ブラインド取替修繕 ・屋上防水改修工事 ・外壁改修工事		美術館の改修 ・自動扉開閉装置修繕 ・茶室ロールスクリーン取付工事 ・1階2階トイレバリアフリー化工事		美術館の改修 ・館内蛍光灯取替修繕 ・消防点検不良箇所修繕 ・雨水管、側溝清掃委託 ・産業廃棄物処分業務委託 ・駐車場入口アスファルト舗装工事			
成果		・美術館の設備改修は、予定されていた全ての修繕を実施した。							
課題		・建設後30年を経過し設備が旧式であり、緊急で修繕等を行うことが多いため、計画的に館内設備の修繕・買換えを行うことが課題である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
成果指標		年間入館者数（人）			90,559	91,466	83,659	90,000	90,000
指標									
他市との比較検証		平成29年度施設修繕額（千円）…高浜市やきもの里かわら美術館：150、碧南市藤井達吉現代美術館：1,200、名古屋市美術館：237,750、豊田市美術館：16,043、豊橋市美術博物館：472、稲沢市荻須記念美術館：6,238							
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費 ①		46,996	3,391	3,973	0	合計	3,973,233 円	
	財源	特定財源	0	1,900	0	0	需用費	1,860,699 円	
		一般財源	46,996	1,491	3,973	0	委託料	276,534 円	
	職員人件費 ②		3,525	3,126	3,102	0	工事請負費	1,836,000 円	
	総事業費（①+②）		50,521	6,517	7,075	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			美術品等購入基金積立事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	6	8							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり						
	目的	刈谷市美術品等購入基金の運用収入金を基金へ積立てを行い、適切な運用を図る。		主たる内容	美術品等購入基金の利子の積立てを行う。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	刈谷市美術品等購入基金条例					
		対象者	対象者を設定せず		事業期間	平成1年度 ~			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		・運用収入金を基金に積立 1,798,234円		・運用収入金を基金に積立 725,634円		・運用収入金を基金に積立 301,680円		・運用収入金を基金に積立 545,000円	
成果		・美術品等購入基金の利子を積み立てることで基金の増額を図った。							
課題		・経済状況の悪化に伴う預金利率の低下により収益効果が悪化した。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
成果指標	運用収入金（千円）			1,799	726	301	545	—	
指標									
他市との比較検証	購入基金の有無…高浜市やきもの里かわら美術館：無、碧南市藤井達吉現代美術館：無、名古屋市美術館：有、豊田市美術館：無、豊橋市美術博物館：無、稲沢市荻須記念美術館：有 基金額（内現金）・運用収入額（円）…名古屋市美術館：500,000,000（99,237,000）・2,760、稲沢市荻須記念美術館：42,375,313（同額）・2,617								
C 事業コスト	単位：千円		27年度 （決算）	28年度 （決算）	29年度 （決算）	30年度 （予算）	29年度 事業費内訳		
	事業費 ①		1,798	726	302	545	合計	301,680 円	
	財源	特定財源	1,798	726	302	545	積立金	301,680 円	
		一般財源	0	0	0	0			
	職員人件費 ②		783	782	775	780			
	総事業費（①+②）		2,581	1,508	1,077	1,325			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0		利子及び配当金					
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			施設管理事業				担当部	市民活動部			
一般会計							担当課	美術館			
款	項	目					担当係	美術館			
10	6	7									
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	文化・芸術								
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり								
	目的	美術館及び佐喜知庵の適正な維持管理を行い、施設の環境を最適に保つ。			主たる内容	光熱水費、施設修繕料、建物清掃料など美術館・佐喜知庵の施設管理に関する費用を支出する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画								
			根拠法令	博物館法							
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	昭和58年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画			
		・施設の維持管理、展示環境の整備 ・開館日数 280日		・施設の維持管理、展示環境の整備 ・開館日数 271日		・施設の維持管理、展示環境の整備 ・開館日数 274日		・施設の維持管理、展示環境の整備 ・開館日数 274日			
成果		・施設、設備等が適切に維持管理ができ、来館者に快適な鑑賞環境の提供ができた。									
課題		・建設後30年を経過し設備が旧式であり、エネルギー使用効率が悪いため、省エネルギーの観点より計画的に照明・空調等の設備の更新を行うことが課題である。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度			
成果指標		ギャラリーの展示室稼働率（％）			91	98	98.6	100	100		
指標											
他市との比較検証		ギャラリー（貸館）の有無・展示室稼働率（％）…高浜市やきもの里かわら美術館：有※稼働率は不明、碧南市藤井達吉現代美術館：有・30、名古屋市美術館：無、豊田市美術館：有・72.6、豊橋市美術博物館：有・100、稲沢市荻須記念美術館：有・91.5％									
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
	事業費 ①		35,101	32,668	33,518	37,715	合計	33,518,258 円			
	財源	特定財源	2,264	2,475	2,272	2,353	需用費	16,726,986 円			
		一般財源	32,837	30,193	31,246	35,362	役務費	846,937 円			
	職員人件費 ②		7,443	5,861	5,428	5,460	委託料	14,155,001 円			
	総事業費（①+②）		42,544	38,529	38,946	43,175	使用料及び賃借料	1,789,334 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称					
29年度までの累積事業費		0		美術館使用料、電話料実費徴収金							
31年度以降の事業費見込		0									